

— 東日本大震災から 13 年 —

# いま確認しよう 大地震への備え

問合せ 防災対策課

☎ 内線 337 FAX 21-7000



2011年3月に発生した東日本大震災から13年が経ちます。日立市では、地震・津波による被害のほか、69か所の避難所に最大13,607名が避難するなど、震災はそれまでにない大きな爪痕を残しました。

また、今年元日には、最大震度7、マグニチュード7.6の能登半島地震が発生しました。建物の倒壊や道路の寸断、断水などの被害を各地にもたらし、多くの住民が避難生活を余儀なくされました。

地震は、何の予兆もなく突然に発生し、私たちの日常を奪うこともあります。

被害をゼロにすることは不可能でも、事前の備えによって、被害を減らすことはできます。

3.11から13年。改めて、地震へ備えるためのポイントをご紹介します。



被災した建物の被害認定調査



給水車への充水作業

令和6年1月1日に発生した能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。  
市では、被災地への災害義援金の受付や、ふるさと納税の代

## 令和6年能登半島地震に関する支援



給水車での応急給水支援



避難所の運営支援

理寄附の実施、職員派遣による避難所運営、給水活動などの被災地支援を行っています。支援状況について、詳しくは市HPをご覧ください。



# 情報収集の備え



CHECK

01

## 災害時の情報収集を確認しよう

災害時の情報は、テレビ、ラジオ、インターネット、携帯電話、防災行政無線（戸別受信機、屋外放送塔）など、さまざまな媒体から収集することができます。それぞれの媒体から、どんな情報が得られるか事前に確認しておくことが重要です。

### 災害時、市が発信する媒体

- 防災行政無線
- ひたちナビ
- 市 HP
- ケーブルテレビ
- 各種公式 SNS
- など

### この機会に確認しよう

### 戸別受信機

市内全世帯に配布しています！

市では、戸別受信機（防災行政無線）により、地震情報や気象情報など防災に関する情報を発信しています。無償で貸し出していますので、転入などの理由でお持ちでない方は、防災対策課へご連絡ください。

#### 受信状況を確認！

毎日午後4時55分に天気予報を放送しますので、受信できているか確認しましょう。



### 戸別受信機がうまく受信できない！そんな時の「3つのチェックポイント」

#### 1 設置場所を変えてみる

- テレビなど電化製品の近くは避けましょう。
  - 窓際に設置しましょう。
  - アンテナを伸ばし、向きに注意しましょう。
- \*電波は神峰山頂から（大みか町以南は南部支所から）発信されています。

#### 2 電源を入れ直す

今まで受信できていたのに、気づいたら受信できていない…。  
そんな時は、一度本体のスイッチを入れ直しリセットしてみましょう。

#### 3 乾電池の液漏れを確認

消耗した電池をそのまま使用しますと液漏れが発生し、受信機が故障する場合があります。  
乾電池が入っている場合は、1年に1回程度、定期的に乾電池を交換しましょう。

上記1・2を試しても受信できない時や、乾電池の液漏れが発生している時は、防災対策課にご相談ください。  
\*ご自宅の立地環境などにより受信できない場合は、ケーブルテレビ回線等を使用して受信環境を整えるサービス（無料）をご用意しています。

防災無線確認ダイヤル ☎ 0294-22-6131

聞き逃しても安心！

録音された防災無線の放送内容を電話で確認できます。

\*利用には通話料がかかります。録音内容は、原則24時間を経過すると消去されます。



## CHECK 02 ハザードマップを確認しよう

ハザードマップには、津波・土砂災害・洪水・内水氾濫の災害リスク（ハザードエリア）や避難所などの情報が掲載されています。市内を地区ごとに8つのエリアに分けていますので、お住まいの地区のマップを確認しましょう。

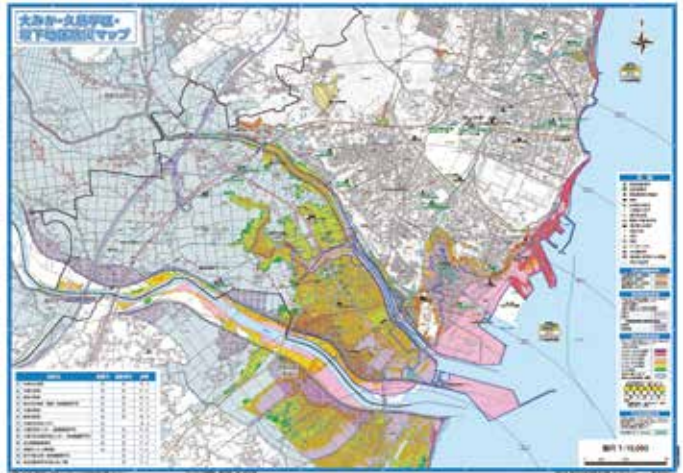
### POINT 01 自宅や職場の状況を確認しよう

自宅や職場などやその周辺の災害リスクを確認しましょう。また、避難先までの道のりに危険がないかを確認しましょう。

### POINT 02 最適な避難先を確認しよう

災害が発生したらどこに避難するか、どのように連絡を取り合うかなど、普段から家族で話し合っておきましょう。

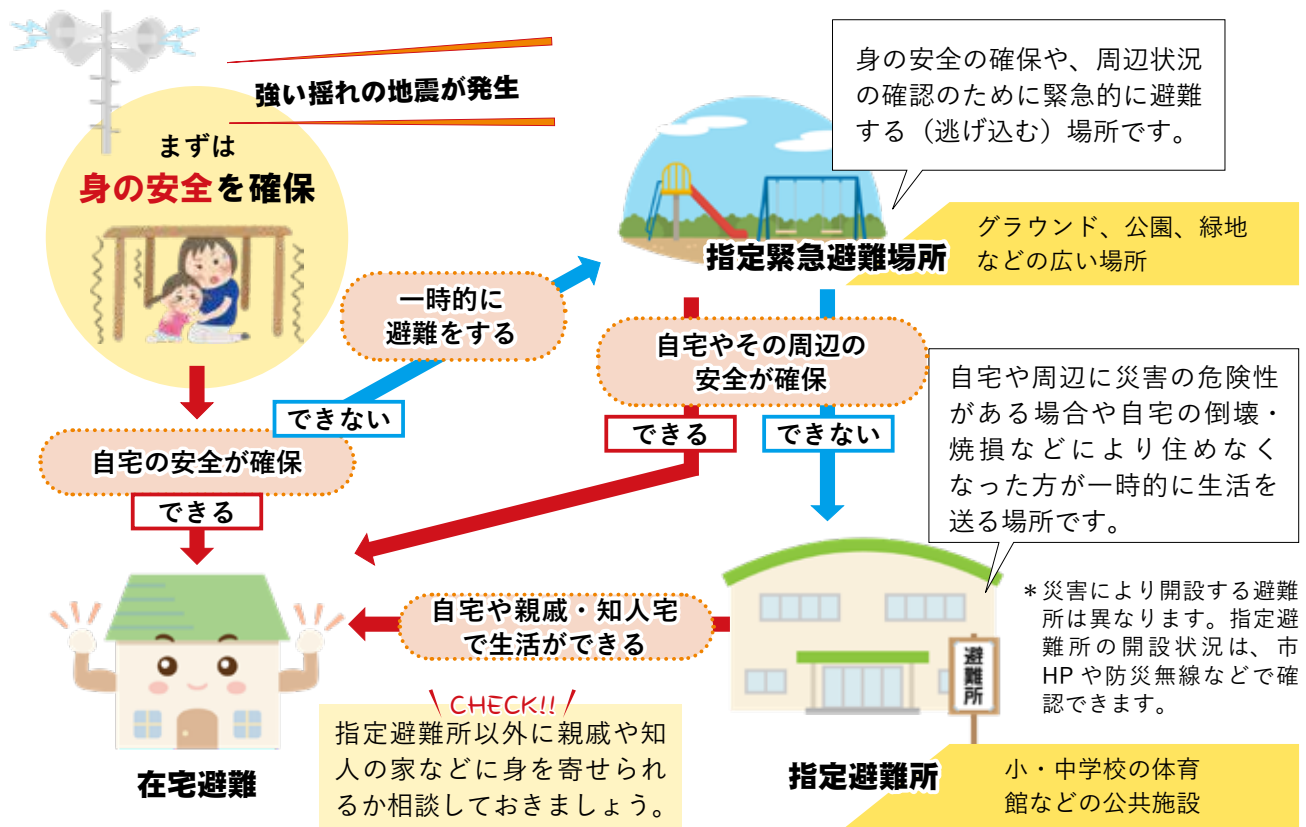
地区別防災マップ



令和5年3月20号市報と同時に全戸配布しているほか、市HPで公開しています。



## いざという時の避難行動を再確認しましょう





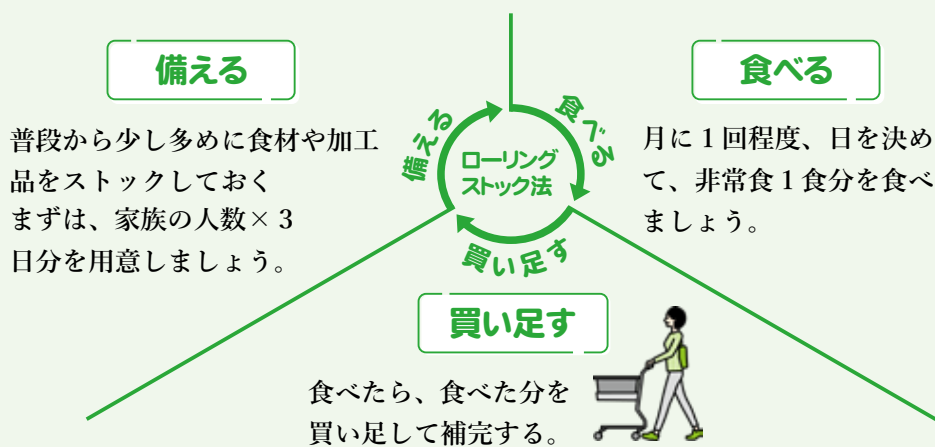
## CHECK 03 在宅避難に備え、食料・日用品を備蓄しよう

発災後、自宅が居住可能であれば、避難所に行かず自宅で生活を続ける「在宅避難」が原則です。自宅での避難生活に備え、食料や生活用品を備蓄しましょう。

**備蓄の目安** >>> 最低3日分を、可能であれば1週間分。水は1人1日3ℓを用意しましょう。

### ローリングストック法を活用しよう

普段から少し多めに買って置き、使った分を新しく買い足していくことで、常に一定量の食材を備蓄すること



### おすすめの非常食

#### 缶詰

野菜や果物の缶詰で栄養を



#### フリーズドライ

少量のお湯で食べられる



#### 乾麺

非常時は水でも戻せる。



## CHECK 04 非常持出品の準備・確認をしよう

避難するときに自宅から緊急的に持ち出す水や食料、生活用品などをあらかじめバッグなどに詰めておく非常持出品の用意も重要です。



令和3年度に市が配布した非常持出袋やリュックなどを活用しましょう！

### 非常持出品チェックリスト

#### 飲料・食料

- 飲料水 1人1日3リットル
- 非常食 缶詰、アルファ米、レトルト食品など

#### 貴重品

- 免許証、保険証、通帳などのコピー
- お薬手帳
- 現金

#### 衛生用品

- 救急用品 ばんそうこう、包帯、三角巾、ガーゼなど
- 常備薬
- 歯ブラシ・歯磨き粉
- タオル
- 携帯トイレ
- 生理用品

#### 生活用品

- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- エア枕
- モバイルバッテリー
- ヘルメット・防災ずきん
- 下着・雨具
- 使い捨てカイロ (防寒対策)
- うちわ、冷却シート (熱中症対策)
- 上履き (スリッパ)
- 軍手
- プラスチックフォーク
- 紙皿・コップ
- ラップ
- 筆記用具

#### 感染症対策

- マスク
- 体温計
- 手指消毒用アルコール
- ウエットティッシュ

#### その他

必要なものを記入しておきましょう。